

五月九日發令

官人第五〇二號	決裁	昭和十八年二月廿二日
接受理	施行	昭和十八年二月廿二日
起案	昭和十八年二月廿二日	完結
昭和十八年二月廿二日	昭和十八年二月廿二日	昭和十八年二月廿二日

次官  
人室長

案

次官

軍次官宛

占領地軍政要員ノ人選ニ関スル件

大東亞省

大 東 亞 省									
最ニ内閣書記官長ヲ通シ御申越ノ標記ノ件ニ関									
シ別紙名簿ノ通推薦セル付可然御取計相成度									
記									
「ユーギニア」民政府要員									
通信事務 海軍書記 二名									

(起案用紙三號ノ三)

規格一115 (東東3,195)

任 地		官 職 名 及		軍 政 要 員 候 補 者 名 簿	
擔任業務	ニユーギ ニ ア	南洋廳郵便局 通信書記 二等	昭和一八、一一、一〇 昭和一八、一一、一〇 昭和一八、一一、一〇	同	昭和一八、一一、一〇
現官等俸給 (發令年月日)	南洋廳郵便局 通信書記 二等	昭和一八、一一、一〇 昭和一八、一一、一〇 昭和一八、一一、一〇	同	昭和一八、一一、一〇	昭和一八、一一、一〇
司政官(技師)ニ 轉出ノ場合ノ希 望官等俸給	海軍書記 五 級	昭和一八、一一、一〇 昭和一八、一一、一〇 昭和一八、一一、一〇	同	昭和一八、一一、一〇	昭和一八、一一、一〇
任用資格	及學歴	功爵	氏 名	生 年 月 日	現勤務地
六	六	功爵	氏 名	生 年 月 日	現勤務地
明四二、四一〇	佐々木和夫	明四二、四一〇	村田幸七郎	明四二、二二五	同 上
南洋群島 バラオ諸島 コロール島	同 上	南洋群島 バラオ諸島 コロール島	同 上	南洋群島 バラオ諸島 コロール島	同 上

南洋廳

人 薦 推

原籍	宮城縣登米郡淺水村	族稱	平民	氏 名	佐々木 和 夫	官階	廳 名
地名	水越灰塚二八五						
出生地名	右 同						
生年月日	明治四十二年四月十日			舊氏名			
年 號	月 日	事 項					
大正一三	三二七	宮城縣登米郡淺水尋常高等小學校卒業					横須賀海兵團 舞鶴練習部
"	六 一	横須賀海兵團入團 海軍四等水兵					"
"	九 一	海軍三等水兵					"
"		第二十九期普通科電信術練習生トシテ海軍水雷					"
"		學校入校					"
"	一四 九二七	海軍小演習部隊編制中在籍ノ儘軍艦金剛轉勤					海軍水雷學校
"	一〇 一四	右臨時乗組中ノ處復歸					"
"	一一 一	海軍二等水兵					"
"	一一 一九	第二十九期普通科電信術教程卒業 (掌電信兵)					"
大正一四	一一 一九	第一號驅逐艦ニ轉勤					海軍水雷學校 一號驅逐艦
"	一五 七五	似之島熱田方面行動中臨時同艦乗船					"
"	七二〇	右臨時乗組中ノ處復歸					"
"	八三一	葉山警備御酒肴ヲ賜ハル					"
"	一一 一	海軍一等水兵					"
"	一一 一七	父島電信所轉勤					父島海軍無線電信所
昭和	三一 二六	軍艦青葉轉勤					軍艦青葉
"	四 三 二八	吳發芝ノ外國領戌					"
"	四 三	旅順歸着					"
"	九二〇	横須賀海兵團ニ轉勤					横須賀海兵團
"	一〇 二	横須賀電信所ニ臨時勤務					"
"	一〇 三一	昭和四年度通信檢定 (電信) ニ參與シ成績優					軍艦青葉
"		等ニ付優等賞並ニ賞狀授與					"
"	一一 八	右臨時勤務ヲ免ス					横須賀海兵團

昭和四十二年四月十日  
横須賀海兵團  
舞鶴練習部  
海軍水雷學校  
一號驅逐艦  
父島海軍無線電信所  
軍艦青葉  
横須賀海兵團  
横須賀電信所  
昭和四年度通信檢定 (電信) ニ參與シ成績優等ニ付優等賞並ニ賞狀授與  
右臨時勤務ヲ免ス

南洋廳



昭和十四年二月二十六日													パラオ郵便局勤務ヲ命ス													南洋廳																									
" 一五													三三一													給月俸六十三圓													"												
" 一六													九三〇													給月俸七十圓													"												
" 一七													九三〇													給六級俸													"												
" 一八一、一〇													給五級俸													"																									
													</																																						



昭和一〇	七一	毎月年功加給トシテ金一圓五十錢給與		
"	一二二	日給金一圓七錢給與		
"	一二二	日給金一圓十三錢給與		
"	六	日給金一圓二十六錢給與		
"	七一	毎月年功加給トシテ金二圓給與		
"	一三	任通信書記補 給月俸四十四圓	判任	遞信省
"		盛岡郵便局在勤ヲ命ス	"	"
"		依願免本官	"	"
"	一三二〇	通信手ヲ命ス		ボク郵便局
"		月給四十三圓ヲ給ス		
"		電信係勤務ヲ命ス		
"	一四	月給四十六圓ヲ給ス		
"	一五	月給四十九圓ヲ給ス		
"	七五	南洋廳へ出向ヲ命ス		
南洋廳				
昭和一五	八一四	雇ヲ命ス		南洋廳
"		月給四十九圓ヲ給ス		
"		拓殖部遞信課勤務ヲ命ス		
"	九三〇	月給五十一圓ヲ給ス		
"	一六	月給五十四圓ヲ給ス		
"	九三〇	月給五十六圓ヲ給ス		
"	一七	任南洋廳郵便局通信書記補		
"		給月俸五十六圓		
"		パラオ郵便局勤務ヲ命ス		パラオ郵便局
"		電信課勤務ヲ命ス		南洋廳
"	一七	給月俸五十九圓		
"	九三〇	給月俸六十一圓		
"	一八	給月俸六十五圓		
"	一一一〇	任南洋廳郵便局通信書記		

履歴書紙(乙)





東人秘第二七二號

昭和十八年十一月十八日

南洋廳長官官房總務課長



大東亞大臣官房人事課長 殿

占領地軍政要員ノ人選ニ關スル件

十一月十二日附官人第五〇〇二號ヲ以テ御來照ノ首記ノ件ニ關シ左記ノ者推薦致度候ニ付可然御取計相煩度候  
尙關係書類各五部添付致候ニ付御查收相成度

記

一、通信事務ニ關スル海軍書記

南洋廳郵便局通信書記

佐々木 和 夫

二、同

同

村 田 幸七郎

(終)

官人第五〇二號		決裁	昭和昭和六年八月五日	淨書	校合	送發
接	受	昭	和	年	月	日
起	案	昭	和	一	八	年
		一	月	一	日	
施行		昭	和	年	月	日
完結		昭	和	年	月	日

人事課長

次官

案

人事課長

占領地軍政要員ノ人選ニ関スル件

首題ノ件ニ関シ海軍次官ヨリ内閣書記官長ヲ通シ左記

要員派遣方申越ニ付至多候補者銓衡ノ上推薦相成度  
照會ス

追テ本件推薦ニ際シテハ所定ノ要員名簿並履歴書各  
五部宛添付セラレ度為念

記

「ニーダニア」民政府要員

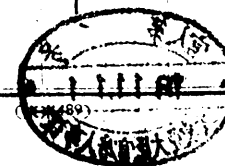
通信事務 海軍書記 二名

「附箋按」

海軍ニ於テハ南洋廳郵便局通信書記村田幸七郎  
同佐々木和夫ヲ希望ス

(記案用紙三號ノ三)

規格-135



内閣人軍第三三九號

昭和十八年十一月九日

内閣書記官長 星野直樹

大東亞次官 山本熊一殿



内閣地軍政委員ノ人選ニ關スル件  
前題ノ件ニ關シ地軍政委員ニ申出之有價値貴賓ニ在ル人員ヲ派遣相  
成續致度至急慎重者檢衡ノ上海軍次官宛推薦相成度候  
記

擔當事務	官名	員數	備考
通信事務	海軍書記	二	ニユーギニア民政府要員ニシテ海軍ハ南洋廳郵便局 通信書記村田幸七郎・同佐々木和夫ヲ希望ス

内閣  
附

官人第五四九二號	決裁	昭和十八年三月廿日	書	校	牧	送	發
接	昭和十八年三月十七日	施行	昭和十八年三月廿日	完	結	昭和十八年三月	日
起案	昭和十八年三月十七日	施行	昭和十八年三月廿日	完	結	昭和十八年三月	日

次  
安  
課長  
左記ノ通發令相成タル日海軍省ヨリ通報越タルニ  
付及通知候

大東臣

南洋郵便局通信書記	佐々木和夫
任海軍書記	
給五級俸	同
任海軍書記	村田幸七郎
給月俸七拾圓	
海軍書記	佐々木和夫
同	村田幸七郎
ニエギニア民政部附ヲ命ス	
昭和十八年十二月九日	海軍省

(出案用紙三號ノ三)

規格-B5 (JIS 489)

人秘第一號ノ一九二六

昭和十八年十二月十四日

大東亞大臣官房人事課長 殿

海軍省人事局第一課長

任官發令ノ件通知

左記ノ通發令セラレ候

記

南洋廳郵便局通信書記

佐々木 和 夫

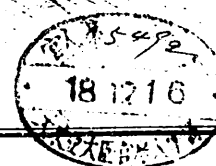
任海軍書記

給五級俸

同

村 田 幸七郎

任海軍書記



秘

給月俸七拾圓

昭和十八年十二月九日

海軍書記

佐々木 和 夫

同

村 田 幸七郎

ニユーギニア民政府附ヲ命ス

昭和十八年十二月九日

海 軍 省

(終)